

# 植物生体防御学研究室

准教授 中島 雅己  
masami.nakajima.pp@vc.ibaraki.ac.jp

当研究室では、環境負荷の軽減化を念頭においた有効かつ持続的な病害防除技術の開発に関する教育・研究を行っています。

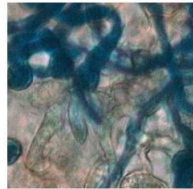
## 病原性発現機構に関する研究

病原性発現機構を病原菌と植物の両側面から解析し、得られた知見を新たな病害防除技術の開発に利用することを目指しています。

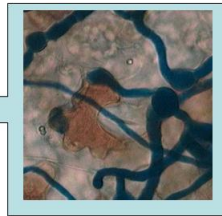
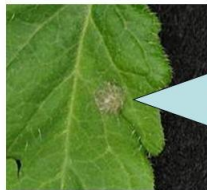
キュウリ

トマト

野生株



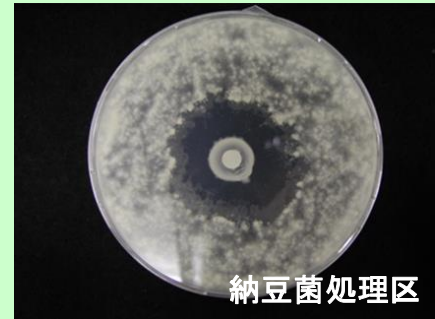
弱病原性株



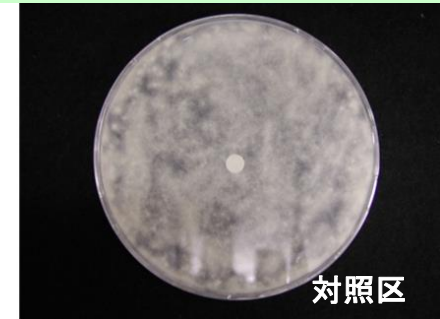
灰色かび病菌を人工交配することにより得られた子のう胞子由来株の中から、病原性の極度に低下した菌株を得ています。この弱病原性株と植物の相互作用を野生株のそれと比較解析することにより、灰色かび病菌の感染機構が明らかとなるのが期待されます。

## バイオコントロールに関する研究

微生物を利用して植物の病気を防ぐバイオコントロールにより、化学合成農薬の使用量を減らすことが可能になります。



納豆菌処理区



対照区

PSA培地上における納豆菌 (*Bacillus subtilis* var. *natto*) による灰色かび病菌の菌糸生長に対する抑制効果



納豆菌処理区



対照区

納豆菌を処理したシクラメンにおける灰色かび病抑制効果